

# 串本・古座川

くしもと・こさがわ

## 水道停止時に生活用水供給

### 串本町 潮岬病院、鈴木石油と協定



協定書に署名した（左から）東芳史理事長、田嶋勝正町長、鈴木崇社長  
=12日、串本町役場本庁舎

串本町と医療法人芳純会潮岬病院（東芳史理事長、鈴木石油株式会社（鈴木崇代表取締役社長）が12日、災害時における井戸水供給及び燃料供給等に関する協定を締結した。同病院は将来の被災を見据えた事業継続計画（BCP）策定に当たり、被災時の生活用水確保を目的として約20年使用を休止していた井戸を復興。停電時でも使えるよう採水ポンプ用のディーゼル発電機を新たに導入して備えている。

能登半島地震で生活用水不足により住民が困る様子を知り、院内利用はもちろんだが町内の水道水供給が停止した場合には周辺地域へもこの井戸水を

供給して不足緩和に貢献したいと考え町に相談。停電時に必要となる同発電機の燃料（軽油）供給を潮岬に油槽所を持つ同社に相談し、この仕組みを形とするために三者で協定を結ぶに至った。

この日は役場本庁舎で締結式があり、田嶋勝正町長と東理事長、鈴木社長が同協定書に署名をして発効させた。田嶋町長は「潮岬には多くの方が住み、加えて多くが高台に避難すると、水は大変重要になってくると思う」、東理事長は「私どもの病院だけでなく地域の皆さんにも活用していただければと考えて、これもいわゆる企業の社会的責任の一つと思う」、鈴木社長は「潮岬病院の水と弊社の燃料で、災害時に困っている方々のお役に少しでもなれるよう努力したい」とそれぞれ思いを交わして、この協定を実効性のあるものにするため歩み

## 15日から広場を一般開放

### 串本町 運動公園改修工事が完了



15日から一般開放される運動公園の広場  
=13日、串本町串本

串本町運動公園の改修工事が完了し、15日（土）から一般開放されることになった。この公園は、文化セン

ターから見て北約200メートルに位置。武道館、テニスコート、広場がある複合施設で、改修工事は広場を対象にして実施した。

同社によると、油槽所には2万リットル（うち1000リットルは県の備蓄分）の軽油を貯蔵して、同病院への経路は津波による被災の心配がないため着

実な供給が指せるといふ。同病院によると井戸水の状態は飲用していた時代に近い状態まで戻りつつあるが、現在の基準では未確認のため供給は生活用水として行う。湧

## トラディさん招き

### 21日、串本町

南紀国際交流協会が21日（金）午後8時から、串本町文化センターで講演会「南アフリカFaraway Land」を開く。講師は町教育委員会外国語指導助手（ALT）のレボ・トラディさん。予約不要、入場無料で、誰でも気軽に来場してほしいという。総会と対して実施する研

広場の敷地から老朽化した遊具や樹木を取り除いて平らに整地し、駆け回るのに適した広さ約1200平方メートルの芝地エリ

## 37チーム参戦し釣果競う

### 大会「第35回JBT K」

串本町

カジキ類の釣果を競う大会「第35回JAPANビルフィッシュトーナメントin串本（JBT K）」が7、8日の2日間、串本漁港を基地にしてあり地元からも釣果の観戦を集めるなどした。

この大会は、JBT K実行委員会（南本庸介委員長）が主催。クルーザー

が全体釣果は多く、申告魚はキャッチ2本、タグ&リリース1本にとどまった。キャッチした2本はいずれもマジキ。公開検量を経てチームメンバーらが特設ステージで披露し注目を浴びた。

順位は獲得ポイントで決めるルールになっていて、ファーストマリン

入れている体験クルージングと餅まきは実施し、それぞれ地元住民の参加や参集を得てにぎわった。



まぎの様子

## 13人がミヤク釣りで競う

### 串本漁港でミニ珍魚釣り

串本町 南紀観光協会

南紀串本観光協会（宇井晋介事務局長）主催のミニ珍魚釣り大会が8日に串本漁港であり、13人が釣果を競い合った。

岸壁上の区域内で釣る場所を決め、主催者が準備した道具と餌を使ったミニヤク釣りで約90分間の競技に臨んだ。